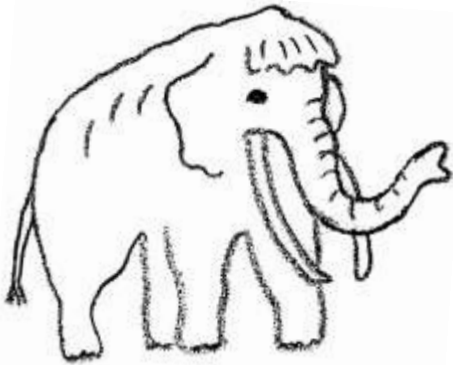
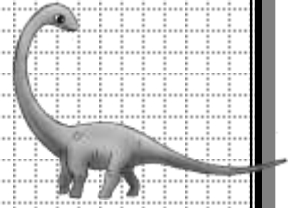


けんぱくものしりシート

きたかみさんち

かせき

北上山地のサンゴ化石



ナウマンゾウ

わしは、今から2万年ほど前、岩手県のずっと南にある一関市花泉町でくらしていたナウマンゾウじゃ。今日は、わしがふるさと花泉で毎日ながめたなつかしい北上山地の、大昔の化石の話しようと思う。北上山地で一番高い山、早池峰山より南の方では、日本の中でも古い時代の化石がたく

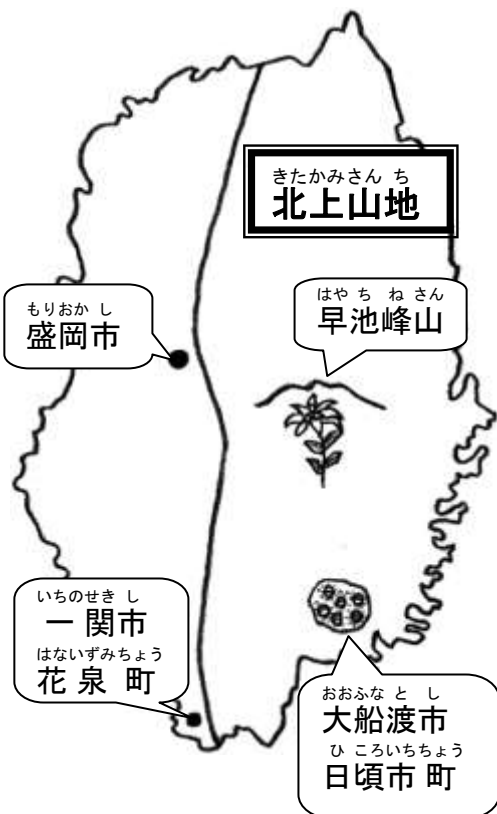
さん見つかる。古生代に栄えたサンゴや三葉虫・アンモナイトなどの海のいきものや、日本でもっとも古いといわれる植物の化石じゃ。とくにサンゴは、4億年以上前のシルル紀からデボン紀・

古 生 代	ペルム紀	2億5200万年前
	石炭紀	2億9900万年前
	デボン紀	3億5900万年前
	シルル紀	4億1900万年前
	オルドビス紀	4億4400万年前

ペルム紀
2億5200万年前
石炭紀
2億9900万年前
デボン紀
3億5900万年前
シルル紀
4億1900万年前
オルドビス紀
4億4400万年前

ム紀の、それぞれの時代のいろいろ

な種類の化石が見つかっている。北上山地の南のほうは、長い間、サンゴ礁が広がる暖かい海だったということがわかるじゃろう？この時代のサンゴ化石は、当時その場所が海だったことを教えてくれるばかりじゃない。地球上のどこにあったかを知る手がかりにもなる。なんと、4億年以上前、今の北上山地の南の方は北の方とは遠く離れていて、赤道のあたりにあったというんじゃ！



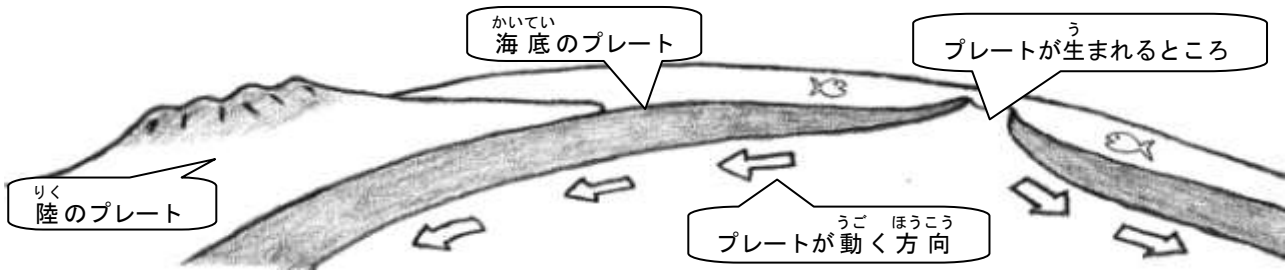
きたかみさんち
北上山地

もりおかし
盛岡市

はやちねさん
早池峰山

いちのせきし
一関市
はないずみちよう
花泉町

おおふなとし
大船渡市
ひころいちちよう
日頃市町



地球の外側は厚さが最大100 kmほどのぶ厚い岩の板『プレート』が、何枚かでおおっている。プレートのさかいめでは海底のプレートが陸のプレートのななめ下にもぐりこんでいく一方で、別のさかいめでは新しいプレートが生まれて、毎日少しずつ動いている。実は、北上山地のサンゴと同じ仲間の化石が、中国の南の方やチベットなどからも見つかっていて、当時はひと続きのサンゴの海だったと考えられているんじゃ。これが、プレートが動くことで離ればなれになっていき、北上山地の南の方は3億年ほどかけて今の場所にやってきたというわけなんじゃよ。

ところで、古生代の化石がこんなにたくさん見つかるのは日本中で北上山地だけじゃ。130年以上前にドイツ人地質学者ナウマン博士が東北地方を旅してこの古い山々を北上山地とよんで以来、研究の歴史も長い。今から80年前、それまでデボン紀の化石がもっとも古いとされていた北上山地で、さらに古いシルル紀のサンゴ化石が見つかった！大船渡市日頃市町樋口沢でのことじゃ。当時は、岩手はもちろん、日本最古の化石の発見じゃ。これは、日本の地層や岩石を研究する地質学の歴史の中でとても重要な出来事じゃった。なにしろもっと昔のことを知る手がかりとなる化石じゃ。その後の研究にも大きく役立ったシルル紀のサンゴ化石は2016年、《岩手県の化石》に選ばれたんじゃよ。

参考 『岩手県内化石めぐり』 岩手県立博物館 1987年

らいげつ がつ
来月(8月)の
けんぱくものしりシートは
こうこ
考古-13だよ！
おたのしみに！



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>